



乳房超音波検査 結果の見方

10年後に後悔しないために

乳房超音波検査とは

乳房超音波検査は、乳房に超音波をあて、返ってくる反射波（エコー）をコンピュータによって画像化して異常の有無を調べる検査です。触診では発見できないような小さなしこりが発見できます。

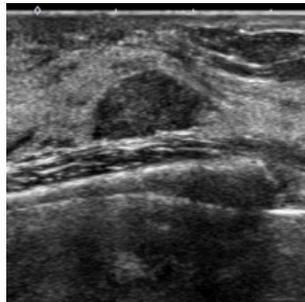
超音波検査は乳腺の密度に影響を受けないため、乳腺が密な若い人にも適しています。



乳房超音波検査でわかる病変の画像例



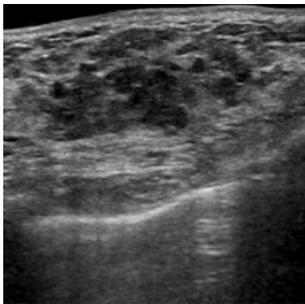
嚢胞（のうほう）



線維腺腫



乳がん（浸潤癌）



乳がん（非浸潤癌）

カテゴリーとは

乳房超音波検査の検査結果は、がんの疑いの程度に応じて5つのカテゴリーに分類されています。

カテゴリー3以上では悪性（がん）の可能性がありますので、「精密検査」を行う必要があります。カテゴリー3以上と判定された方には、「精密検査のご案内」を検診結果に同封させていただいています。「精密検査のご案内」に従って谷津保健病院、あるいは最寄りの医療機関を受診してください。悪性（がん）の確定診断は、精密検査の結果で判断されます。精密検査を受けた人のうち、10%程度の方が悪性（がん）と診断されます。

| | |
|--------|--------------------------|
| カテゴリー1 | 異常がない |
| カテゴリー2 | 良性と考えられる |
| カテゴリー3 | 良性の可能性が高いが、悪性（がん）を否定できない |
| カテゴリー4 | 悪性（がん）が疑われる |
| カテゴリー5 | 悪性（がん）と考えられる |

乳房超音波検査 用語の説明

充実性腫瘍

充実性腫瘍とは、正常とは異なる細胞成分で満たされている組織の塊のことです。

良性の線維腺腫や、葉状腫瘍、乳がんなど様々な腫瘍があります。

のう胞

乳腺から分泌された液体が、乳管内に袋状に溜まったものです。一般的に良性であることが多く、治療の必要はありません。

ただし、のう胞内に腫瘍（疑い）がある場合や、小のう胞が集簇している場合には、精密検査が必要です。

のう胞内腫瘍

のう胞の袋の中に充実性腫瘍（細胞成分）が含まれるものです。良性腫瘍であれば嚢胞内乳頭腫など、悪性腫瘍であれば嚢胞内癌などがあります。

乳管内病変

拡張した乳管の中に充実成分（腫瘍細胞）が含まれる場合を乳管内病変と言います。良性の乳管内乳頭腫だけでなく、悪性（がん）の場合もあるため精密検査が必要です。

乳腺症

乳腺症とは、女性ホルモン（エストロゲン）のバランスの変化に関連し、乳房のしこりや痛み、乳頭からの分泌物など色々な症状を呈する、悪性ではない（がんではない）と判断される良性の疾患群の総称で病気ではありません。

授乳期乳腺

妊娠中・授乳中の乳腺は発達しており、通常の乳腺の状態と異なります。明らかなしこりや腫瘍の判別はできませんが、通常の乳腺よりも診断がしづらい状態ですので、断（卒）乳後に再度検診を受診することが勧められます。

検診を受診する間隔について

谷津保健病院では、毎年の乳がん検診の受診をお勧めしています。

習志野市の乳がん検診では、30歳代の方は乳房超音波検査を、40歳以上の方はマンモグラフィ検査を2年に1回受診することができます。

習志野市の乳がん検診を利用できない年、並びに40歳以上の方の乳腺超音波検査は、谷津保健病院の乳がん検診（自費検診）をご活用ください。

谷津保健病院の乳がん検診（自費検診）

- ・マンモグラフィ 4,950円（税込）
- ・乳腺超音波検査 3,850円（税込）

予約方法

- ・窓口予約 1階予約センター
- ・電話予約 ☎ 0120-451-626
- ・Web予約

